

## 『10社に1社、売り上げアップ 猛暑でエアコン、食品好調』

帝国データバンクは「猛暑に関する企業の動向」について緊急調査を実施、その結果を発表した。それによると、猛暑で売り上げが伸びた商品・サービスがある企業は10社に1社で、売り上げが伸びた商品・サービスは「エアコン・空調関連」が最も多く、「食品関連」も好調。同調査は2024年8月7日から13日までインターネットで実施、有効回答企業数は1572社。



自社が手がける商品・サービスの中で、猛暑をきっかけに売り上げが伸びたものはあるか尋ねたところ、「ある」は11.4%だった。業界別に売り上げが伸びた商品・サービスが「ある」企業の割合を見ると、小売が30.5%で最も多い。次いで卸売が20.1%で続いている。売り上げが伸びた具体的な商品・サービスは、エアコン販売や空調設備工事などを含む「エアコン・空調関連」が最も多く、清涼飲料水やアイスクリームの包装資材などの「食品関連」も売り上げを伸ばした。

約9割の企業が猛暑対策を実施しており、「健康状態の把握」(47.9%)がトップ。以下、「水分・塩分補給品や冷却商品の支給」(46.1%)、「クールビズの実践(制服や作業服の変更などを含む)」(44.0%)、「扇風機やサーキュレーターの利用」(43.3%)が続く。

## 『第6回満足度・生活の質調査 全体では過去最高値の満足度』

内閣府はこのほど、第6回「満足度・生活の質に関する調査」をまとめ公表した。生活満足度に関しては、調査開始以来で最高水準となり、1年間での上昇幅も最大となった。男女とも最高水準となったが、特に男性の上昇幅が大きい。年齢階層別では、全ての階層で上昇したが、40歳～64歳は2020年の水準に至っていない。地域別では、全ての地域で同程度の上昇。雇用形態別では、コロナ禍の影響を大きく受けた非正規雇用が引き続き上昇し、正規雇用との水準差は縮小した。

生活満足度の点数別の分布をみると、39歳以下の層は7点、40歳～64歳の層は5点、65歳以上の層は8点が最頻値となった。重視する事項としては、「家計と資産」「健康状態」「生活の楽しさ・面白さ」がいずれの年齢層でも重視されている。5年間の生活満足度の変化では、39歳以下の層で上昇・低下双方の割合が他の年齢階層より高く、相対的に変動が大きい。転職と満足度の関係では、転職意向のない人の満足度が最も高く、40歳～64歳の層では転職活動中の人の満足度が大きく落ち込む傾向がみられた。また、男性は75歳以上でも5割以上が就業しており、就業希望の実現状況が満足度に与える影響は男性において顕著になっている。



出典元：日本中小企業経営支援専門家協会(JPBM) ※本記事・内容の無断転載を禁じます

21世紀を創造する中小企業のベストパートナー

葵総合経営センター

〒460-0012 名古屋市中区千代田三丁目14番22号

(葵総合税理士法人)

TEL : (052) 331-1768 FAX : (052) 332-5282

『Homepage』 <http://www.aoi-cms.com/> 『e-mail』 [aoi@aoi-cms.com](mailto:aoi@aoi-cms.com)